

今月の市民記者
米津 榮次郎さん



広報誌で池田を伝えて今年で15年目。「何か社会に恩返しできたら」と話す、御歳87歳。地球温暖化についての科学的知見を集約し、国際的に広める「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」にも参加。

池田市民記者が行く!

市民が池田市の魅力をレポートする“市民記者”として、地元・池田の情報を発信します。

取材先

多世代交流ハッピーズ



こもれび降り注ぐ食堂で幸せを招き ひとり親・ワンオペ育児に寄り添う

今回は「世代を問わず笑顔にハッピー」をめざす「多世代交流ハッピーズ」(長野代表)を紹介します。設立は昨年7月で、トアエル(池田市公益活動促進協議会)届出団体として初々しい。そして、活動は次の二つです。

◆こもれびハッピー食堂

開催日は、通常月一回土曜日の夕方からとなっています。場所は宇保町「寺子屋・mae」またはレンタルす

今回の「ばんまい」です。内容はシニア向け!と言っても、子どもや若い世代を巻き込み交流するので、どなたでも参加できます。

ここで欠かせないのは「こもれび相談室」(松田代表理事)の手厚い協力です。スタッフが食材を厳選し精魂込め手作り料理を作ります。

軽食を主に飲み物は何でもあり・飲食代は手ごろ。こもれびの降る森にたたずむ木の家ではワイワイガヤガヤ、共に打つ舌鼓が幸せを呼び寄せます。興が乗れば特技が披露され、今年の夏は、勇壮で力強い詩吟(志舟会・木原新一さんなど)や、親・子(石田彩乃さん)でのピアノ連弾が憩いに彩りを添えていました。食堂ボランティアに参加していただけるなら大歓迎と言われます。

◆ひとり親・ワンオペ育児の集い

開催日は通常月一回、日曜日の午前中です。場所は「ばんまい」別棟2階の「学遊」という民間非営利の塾。ワンオペ育児をする親とい

っても、シングルママやパパを含め、仕事で帰りの遅くなる方、単身赴任の留守を預かる方、子育てと介護の狭間の方など暮らし向きは多様です。何事も気おくれせず、飲み物やお菓子を

つまみ、ワイワイガヤガヤのお喋りはもちろん、今後は季節のイベントや講習なども計画中のことです。そこには、子ども連れに優しいオモチャ付きの和室が待っています。

時に病児保育の場が話題になっていました。日常立ちあがる困難にめげず、

懸命に幼児リハビリなどに励まれる姿に頭が下がる思いです。就学前の居場所を確保拡充するため、まず自助共助による協力者に巡り会いたいそうです。

長野さんに本団体の方針を聞いたところ「スローガンは「一人で悩まないで、どんな小さな事もいっしょに悩もう!」です。もちろん私も含めて。私達は不安や悲しみや喜びを話せる心の拠り所を設けています。

トアエルを推進力に多世代で支え合える地域が広がるように願っています。私達に共感される方、活動を共にしてくださる方も、ご連絡をお待ちしています」とのことでした。

お問い合わせ

連絡先

トアエル事務代行
☎752・4334
メール
happys0701@yahoo.co.jp